



705 STOOL W1000 × D400 × H420

Naoko Ito × Kairos & M



705 STOOL
W400 × D400 × H420

705 スツール(サイドテーブル)

「スタイリッシュな都会の暮らしに
柔らかな森の木漏れ日を」

森で100年育った樹を丁寧にけずり、アクリルの光に乗せました。サイドテーブルとしてもスツール・ベンチとしてもお使いいただけます。森で100年育った樹は、私たちのもとに来て100年マイナスイオンを出してくれます。太古の昔、森で生活していた私たちのDNAが木のオーラを受け取り、心に安らぎをもたらします。忙しい都会の生活に木のオーラを取り入れることは、私たちが健康で豊かな暮らしを送るために、必要なことと言えます。日本人は古代より樹と仲良く暮らし、その生命力を取り入れてきました。法隆寺の五重塔のヒノキは1400年たった今でも、より強くより固くなっています。木は私たちと共に生きています。自然なものが失われていく今だからこそ、ナチュラルな木の家具をスタイリッシュなデザインで暮らしに取り入れていきたいと考えています。



伊藤直子 株式会社リド代表/インテリアデザイナー

- 2004年 町田ひろ子アカデミーにてインテリアコーディネートを学ぶ
- 2007年 高島屋にて外商顧客向けインテリアコーディネートの内装デザインに携わる
- 2011年 世田谷区成城に株式会社リドを設立
- 2012年 パークハイアットやロイヤルパークホテルでヨーロッパパブリックの展示会を開催
- 2016年 『モダンリビング』第1回スタイリングデザイン賞にノミネートされる。株式会社ミネルバより自身のデザインした『705スツール』が販売される。建築建材展にて、京都北山丸太とガラスパーテーション「komorebi」を発表
- 2017年

きょうを暮らす宿 Villa法然院西

哲学の道のほど近く、1フロア貸切のコンパクトなコンドミニウム。

京の北山杉、檜をはじめとした無垢の木のぬくもりに包まれた

使いやすい和モダン洋室です。

錦市場やちょっと遠出をした大原の市で買った食材をお料理したり

オーナーお勧めの仕出し料理をゆっくりと堪能したり

京都の日常を暮らすように、ご自由にお過ごしください。

お客さまと京都の日常について、お話しできるのを楽しみにしています。

- ◇料金 ※料金は時期によって変動します
- 1泊1組様限定 フロア貸し切り(42㎡)
- ・1名様1泊ご利用 32,000円～
 - ・2名様1泊ご利用 32,000円～
 - ・3名様1泊ご利用 42,000円～
 - ・4名様1泊ご利用 44,000円～

◇アクセス

- 最寄駅
- ・市バス「錦林車庫前」下車すぐ
 - ・以下バス系統の「銀閣寺」錦林車庫前行きが停まります
5、17、32、93、100、102、203、204系統



- 主要電鉄+タクシー
- ・JR 「京都駅」から20分前後
 - ・阪急 「河原町駅」から15分前後
 - ・京阪 「出町柳駅」から10分前後
 - ・地下鉄「丸太町駅」から10分前後
 - ・「今出川駅」から10分前後



京都産ひのきの縦格子のファサード



北山杉のグッズを販売するショップ



おもてなしの心地よいソファ

Kairos & M JOURNAL

No.002
Year:2017



SMART 200
W2020 × D960 × H720

美しいカジュアル。寝間着で寛ぐ姿さえ美しく見せてしまう。日常をより優雅に、そして居心地よくするもの。SMART が提案するカジュアルの哲学です。モダンな彫刻のようにシェイプされた美しいシートは広めて足を伸ばしたり寝そべったりのあらゆる姿勢を受け入れてくれます。



ORU 折

ORU PERSONAL SOFA

W850 × D880 × H710

新国立競技場(オリンピックスタジアム)の設計を任された世界的建築家・隈研吾氏によってデザインされた ORU。隈研吾氏が設計した新潟県長岡市庁舎のVIP 用応接室の為にデザインされたソファをベースに商品化されました。張り地は海外ファッションのトップブランドを魅了する京都の老舗、株式会社細尾の「西陣織」を採用しました。

Villa法然院西

伝統がいきづく
上質でモダンな日常
きょうを暮らす宿

Villa法然院西 × Kairos & M

「京都で今日を暮らす」ように、利用していただく宿泊所の提供を目指して銀閣寺や哲学の道のほど近く錦林車庫前に空き店舗をフルリノベーションし2017年3月に開業致しました。

本施設は京都府公営型（木のまちづくり推進事業）採択の宿泊施設で京都府が府内産木材の活用を目的とした同事業で唯一の女性の新規創業の施設なのです。

40平米を超えるゆったりしたスペースに「暮らすように旅する」という思いを達成するため、大きめのバス、ミニキッチンまでも備えたコンパクトコンドミニアムというスタイルをとっています。

最近の京都でブームとなっている町屋の改装ではなく、京都らしさ、和を感じさせながら、機能的で心地よい空間を目指しています。北山杉に代表される京都産材、北海道オークのフローリングや珪藻土等の自然素材を、床・壁・天井というインテリアの地を形成する面にふんだんに使用しました。

この拘りの空間のおもてなしを担う家具として私たちミネルバの作品が随所に配置されています。



京都北山産材の自然の香り

施設内にふんだんに使用されている北山杉は室町時代 応永年間(1394～1427)頃からつくり始められたといわれ、この北山杉の皮をむき、加工してつくられる北山丸太は千利休により完成された「茶の湯」文化を支える茶室や数寄屋の建築用材として頻繁に用いられるようになり、今日まで、600年の歴史を刻んでおります。この間、先人のたゆまぬ努力と叡智によって、今日の一貫した育林、加工の技術が培われてきました。桂離宮や修学院離宮、島原角屋等は北山丸太を使った数寄屋づくりの代表的な建築です。一般的に北山丸太といわれるものには、磨丸太、人造絞丸太、天然出紋丸太、面皮柱、タルキなどがあり、その特色はとりわけ材質が緻密で木肌が滑らかで光沢があり、干割れが生じにくい等があげられます。

北山丸太の優美な特質は、和風建築にももちろんですが、現代建築にもよく調和し、その優美な風趣は人と自然を近づけ、自然感を室内空間にもたらす材料として様々な用途に使用されています。



SMART 200 W2020 × D960 × H720



ORU PERSONAL SOFA W850 × D880 × H710



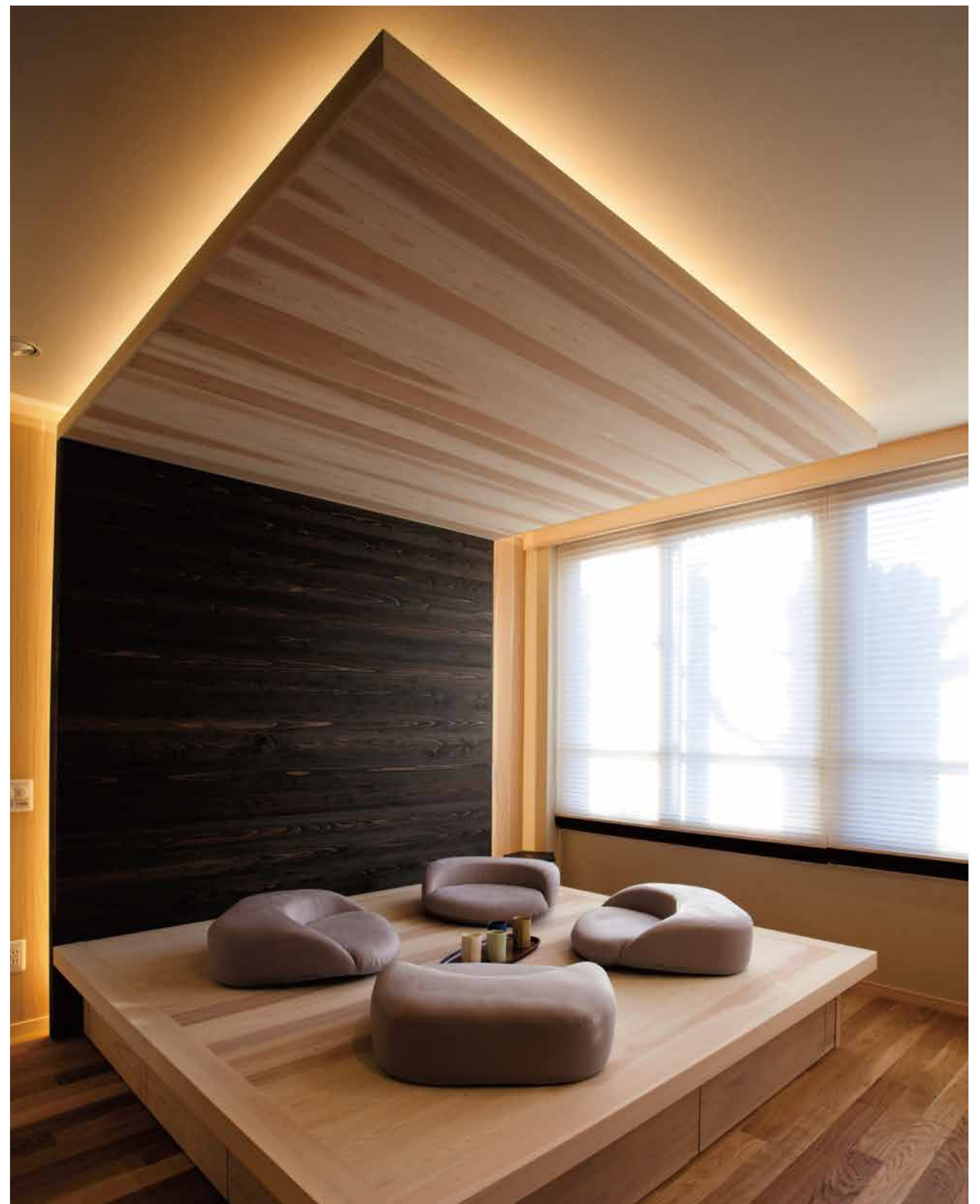
TONERICO W492 × D445 × H790

ミネルバのデザイン・技術・座り心地が体感できるショールーム

Villa 法然院西は、世界の観光地の中で歴史と文化のおもてなしの心で人気急上昇している京都で、急増する国内外の観光客に京都の良さを知ってもらうために、京都・東山の地で、生まれ育った姉妹が、新規創業したこだわりの宿泊施設です。コンセプトは「きょうを暮らす」です。心地よさとくつろぎの中で、京都を存分に愉しむ、京都東山の経験と文化を売るとい意味を込めた言葉です。ソファは、髷ミネルバの世界戦略のフラッグシップとして展開する新ブランド Kairos & M を代表する美しいカジュアルを追求する吉野利幸氏デザインの「スマート」。吉野氏は、「部屋着で、くつろぎ姿さえ、美しくみせてしまう。日常をより優雅にそして居心地よくするもの。モダンな彫刻のようにシェイプされた美しいシートは広めて足を伸ばしたり寝そべったりのあらゆる姿勢を受け入れてくれます。クッションには高級ダウンをふんだんに使い、押し返しのない心地よい柔らかさを実現しました」と語っています。

ラウンジチェアは、多くのデザイナー・設計者とチャレンジングなプロジェクトを推進してきたミネルバが、蓄積する多くのデザインの中から、和を感じさせる「折る」が選ばれています。「折る」は、隈研吾氏が設計した新潟県長岡市の市庁舎のVIP応接室のために、自らデザインしたチェアをベースに開発された美しいシルエットが折り紙をイメージさせるチェアです。

ダイニングチェアは、バットの素材として使われるほど、強く粘り気のある北海道日高地方のアオダモを厳選して、宮本茂紀が世界一軽い椅子を目指したトネリコです。しなやかな粘りのある心地よい座り心地を実現しながらその繊細なデザイン、軽さ故の取りまわしやすさは、驚嘆に値します。



Villa法然院西の思い「癒しと寛ぎ」

コンパクトコンドミニアム Villa 法然院西は、お客様へ「癒しと寛ぎ」を提供するためには非常に大切である室内の家具を選ぶため、髷ミネルバの戸越銀座ショールームに伺いました。オーダージャ具で蓄積された素晴らしいデザイン・上質且つ京都にゆかりのある素材、そして座り心地の良いものを、という希望を伝えさせていただきました。実際に座り、数多くのファブリック・革・木材等素材に触れてその質感を確かめながら、丁寧なコンサルティングを実施いただきました。Villa 法然院西の「暮らすように旅する」というコンセプトを、可能にするラインナップを提案いただき、すべての椅子を採用させていただきました。ミネルバ様にとっても初めての「椅子の座り心地を暮らしの中で体感できる、泊まれるショールーム」として、活用するコラボレーションが誕生致しました。オープン後は、多数のお客様にご利用いただき、ミネルバ家具の座り心地でくつろげたとの感想も多数いただいております。とても感謝しております。

Villa 法然院西では、文化感性・地域性にもとづく丁寧なコンシェルジュサービス(オリジナル散策場所、隠れた観光名所や食事処の紹介等)をはじめ、何気ない会話から「生活する人々を感じる“京都”の息づかい」を共有できるように、そして、京都をゆっくり深く味わいたい人、何回も訪れたい人には最適の宿となり得るような空間と時間を提供させていただきます。

代表 鈴鹿 ひとみ